

Project No.20251011

第 186 回 銀行業務研修・中級コース

第 126 回 収益管理・リスク管理コース

(関係部門へご回覧下さい)

収益管理の実務

(オンライン同時配信)

本コースは、金融機関において収益管理・リスク管理の重要性が近年さらに高まっている中で、特に収益管理について、可能な限り平易な言葉で解説することで、収益管理の実務の高度化について学習します。

- ★ 金融機関で収益管理、リスク管理の業務に配属されたばかりの方
- ★ 企画部門、経理部門、市場部門、A L M部門、事務システム部門のご担当者の方、統合リスク管理のご担当の方
- ★ 収益管理、リスク管理システムを開発されているシステム部門の方
- ★ 収益管理、リスク管理の概要を理解しておきたい経営者、管理者の方
- ★ メーカー・ベンダーの金融機関担当営業、S Eの方

開催日：2025年9月18日(木)・19日(金) 2.0日間

会 場：第2ニッキンホール(東京・市ヶ谷)

講 師：

専修大学 教授

博士(経営学) 谷 守 正 行 氏

主催：日本金融通信社

<https://bunkup.nikken.co.jp/>

※上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援 一般社団法人 全国地方銀行協会

一般社団法人 第二地方銀行協会

一般社団法人 全国信用金庫協会

一般社団法人 全国信用組合中央協会

☆コースのねらい

金融機関における収益、リスク管理の重要性が近年さらに高まっています。本コースでは収益管理、リスク管理を可能な限り数学を使わず平易な言葉で解説。特に金融機関における収益管理の基本的な考え方、実践方法を様々な事例を用いてわかりやすく解説し、収益管理に必要な用語、実務知識を身につけ、今後の業務運営、企画・開発・運用業務、及び効果的なシステム導入の提案・営業活動に役立てていただくことをねらいとします。

☆本コースの位置付け

金融にかかわるすべての方を対象とした「銀行業務研修・基礎コース」「銀行業務研修・勘定系システムコース」に続く銀行業務研修シリーズ。

「信用リスク編」「市場リスク・オペレーショナルリスク・ALM・統合リスク管理編」の2コースに分け、「収益管理編」を加えて、内容を充実させました。

☆開催要綱

日 時：2025年9月18日（木）、19日（金）2.0日間

時 間：1日目 10:30～16:00（10:00受付開始）

2日目 9:30～16:00（9:00受付開始）

講師名：谷守 正行 氏

会 場：第2ニッキンホール（東京都・市ヶ谷）

受講料：

- ・研究会会員価格 63,800円（本体価格 58,000円、消費税 5,800円）
- ・BUNKUP 会員価格 67,100円（本体価格 61,000円、消費税 6,100円）
- ・後援協会会員価格 68,200円（本体価格 62,000円、消費税 6,200円）
- ・一般価格 72,600円（本体価格 66,000円、消費税 6,600円）

（2日間とも昼食はこちらで用意いたします）

受講料：40人（最少開催人員10人）

＜講師のご紹介＞

谷守 正行 氏（専修大学教授）

都市銀行総合企画部にてカンパニー別管理会計を企画・構築・運用ののち、大手SIベンダー金融事業本部部長として経営管理ソリューションの企画と開発を担当。2006年より大手銀行グループのグループ管理会計を構築しIRへ適用。2012年より大手監査法人にて管理会計アドバイザーを首都圏大手から地域金融機関まで多数実施。2020年4月より現職（金融機関等サービス業の管理会計研究）。博士（経営学）、日本管理会計学会常務理事、日本原価計算研究学会理事、日本経済学会連合監事、日本証券アナリスト協会 認定アナリスト（CMA）。以下、主な著書：

『地域金融機関の経営・収益管理：銀行管理会計のケーススタディ』（中央経済社）、

『金融機関のためのマネジメント・アカウンティング』（同文館出版）、

『サブスクリプションの収益管理と企業価値評価』（きんざい）、

「AIによる管理会計の進化と変革」『証券アナリストジャーナル』61、

「管理会計のデジタルトランスフォーメーションに関する調査研究」『メルコ管理会計研究』(15Ⅱ)、

「デジタルサービスのための管理会計-独自進化の銀行原価計算の適用と適合性」『産業経理』83(1)、

「日本の金融機関に求められる収益管理の抜本的見直し」『金融財政事情』69(10)など。

収益管理の実務

カリキュラム

(1日目) 9月18日(木)

10:30~16:00<10:00受付開始>

《 理論編 》

1. 地域金融機関を取り巻く環境

- (1) 地域や国内構造上の役割
- (2) 制度や規制の影響
- (3) ビジネスモデルの変革
- (4) ニューノーマルへの対応

2. 地域金融機関の管理会計体系

- (1) 統合リスク管理
- (2) リスクアペタイト・フレームワーク
- (3) 店別業績評価と減損会計
- (4) 顧客別収益管理

3. 地域金融機関の収益管理実務

- (1) 本支店勘定利息方式(本勘レート法)
- (2) スプレッド収益管理
- (3) 収益管理とALM管理の関係性
- (4) 実収管理による財管一致化
- (5) 役務収益管理の実態

4. 地域金融機関の原価計算実務

- (1) 伝統的原価計算
- (2) ABC(活動基準原価計算)
- (3) RBC(関係性基準原価計算)
- (4) 最新の適用状況

5. 地域金融機関のリスク調整実務

- (1) 信用コストと与信関連費用
- (2) 割当資本と資本コスト
- (3) RWA(リスクアセット)

6. 地域金融機関のその他内部振替実務

- (1) スプリットルール
- (2) サービス振替価格制度
- (3) 預金コスト振替制度

7. 地域金融機関の経営管理指標(KPI)

- (1) さまざまな経営指標の計算構造と特徴
- (2) 資本コスト管理と資本効率性
- (3) 収益性・健全性・適切性の関係性

(2日目) 9月19日(金)

9:30~16:00<9:00受付開始>

《 実務編 》

8. 店別収益管理の実務と事例

- (1) 店別収益管理の目的
- (2) 店別収益管理の適用場面
- (3) 店別収益管理の収益・原価・リスク
- (4) 店別収益管理の経営指標
- (5) 店別減損との関係性

9. 顧客別採算会計の実務と事例

- (1) 顧客別管理会計の目的
- (2) 顧客別管理会計の適用場面
- (3) 顧客別管理会計の収益・原価・リスク
- (4) 顧客別管理会計の経営指標
- (5) 顧客総合採算への展開

10. 部門別管理会計の実務と事例

- (1) 部門別管理会計の目的と部門の考え方
- (2) 部門別管理会計の適用場面
- (3) 部門別管理会計の収益・原価・リスク
- (4) 部門別管理会計の経営指標
- (5) RAFと部門別管理会計

11. 商品サービス・案件別管理会計の実務

- (1) 金利プライシング
- (2) ダイナミック・プライシング
- (3) サブスクリプション(預金のサブスク化)
- (4) 商品・チャネル別収益管理構築上の論点
- (5) 商品・チャネル別の採算ラインの考え方

12. 収益・原価管理システム構築ポイント

- (1) 収益・原価管理こそアジャイル開発
- (2) ツールよりもデータという価値観の共有
- (3) 効果的なシステムを早く安く構築する方法

13. 収益管理トランスフォーメーション

- (1) 目的に応じた収益管理と財管一致
- (2) 固定概念からの脱却(ビジネス変革)
- (3) 新時代の全体最適化(両利きの経営の先)
- (4) ファイナル・メッセージ

FAX 03-3261-4570 セミナー事務局まで

11

第126回 収益管理・リスク管理コース

「収益管理の実務」

ホームページ用受講申込書

2025年9月18日(木)～19日(金)開講

貴社名

所在地 (〒 -)

連絡責任者

TEL

部署・役職

Eメール:

オンライン受講 ()

	参加者氏名	所属 (部・課・グループ)	役職

受講料 A: 63,800円 (本体価格 58,000円) <デジタル金融研究会会員価格>

B: 67,100円 (本体価格 61,000円) <BUNKUP 会員価格>

C: 68,200円 (本体価格 62,000円) <後援協会会員価格>

D: 72,600円 (本体価格 66,000円) <一般価格>

お問い合わせは、 (2日間とも昼食はこちらで用意いたします)

日本金融通信社 TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで

Eメール=k-info@nikkin.co.jp (BUNK UP 会員も割引がありますのでお問い合わせ下さい)

注: (振込先銀行) みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042

(名義) 株式会社 日本金融通信社

振込予定日 (できるだけご記入ください) 月 日

受講についてお願い

①受講料は、セミナー開催日までにお振込みください。

②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。

③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁 (枝番数字) を付記してください。

振込手数料は貴社でご負担をお願い申し上げます。

④開催日直前、6日以内のキャンセルはできません。

⑤講演中は、録音・撮影ならびに携帯電話・パソコンの利用はご遠慮ください。

⑥諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。

⑦オンライン受講の場合は、一人が1IDとなります。